

# LANDRiV リリースノート

2013 年 1 月 16 日

LANDRiV for Nivo バージョン 2.4.1

LANDRiV for Nomad バージョン 4.4.1

LANDRiV for SPS バージョン 2.4.1

株式会社 ニコン・トリンブル

## 目次

<b>LANDRiV 新バージョンリリースのご案内</b> .....	<b>3</b>
<b>新しい機能 および 改善点</b> .....	<b>3</b>
<b>LANDRiV for Nomad のみ変更</b> .....	<b>3</b>
<b>LANDRiV for SPS のみ変更</b> .....	<b>3</b>
<b>LANDRiV for Nivo／Nomad／SPS 共通で変更</b> .....	<b>4</b>

## ◆ LANDRiV 新バージョンリリースのご案内

以下のとおり、LANDRiV の新バージョンをリリースしましたのでご案内いたします。

ソフトウェア名	バージョン	対応機種
LANDRiV for Nivo	2.4.1	Nivo H シリーズ
LANDRiV for Nomad	4.4.1	<u>現行モデル</u> Nivo シリーズ NST-305Cr/307Cr,NST-C1r <u>旧モデル</u> GF-200N/200/300N/300/400N/400 シリーズ NST-100/200/300N/300 シリーズ DTM-400/500/600 シリーズ
LANDRiV for SPS	2.4.1	Trimble SPS トータルステーション シリーズ

本バージョンの主な変更点は、以下のとおりです。

- ① 設計データ入力内の中心線入力に+杭入力機能の追加を行いました。
- ② 横断放射観測(路線)機能を新しく追加しました。
- ③ 測設全般機能を改善し、より操作性を向上させました。

尚、詳細につきましては、下記内容をご確認ください。

## ◆ 新しい機能 および 改善点

### 1. LANDRiV for Nomad のみ変更

#### ● 「通信設定」

- TS(トータルステーション)と通信接続を行った時、Nomad と TS 間で観測条件が異なる場合、観測条件を一覧表示する機能を追加しました。

### 2. LANDRiV for SPS のみ変更

#### ● 「ターゲット(プリズム)」

- ターゲット ID 付 Trimble360° プリズムに対応しました。

### 3. LANDRiV for Nivo/Nomad/SPS 共通で変更

#### ● 「現場管理」

- 基準点現場機能を追加しました。

異なる現場で共有する座標値がある場合、この基準点現場内に座標値を登録しておくこと、どの現場でも共有できる機能です。

#### ● 「設計データ」

- 中心線データ内に、+杭機能を追加しました。
- ブレーキ点の設定により、同じ測点名が複数存在した場合でも、測点を累加距離により選択できるようにしました。

例：累加距離 65.000m に No3 のブレーキ点を設定した場合、60m の No3 と 65m の No3 の選択を可能にしました。

- 円弧の midpoint に主要点 (SP) を追加しました。

#### ● 「路線選択」

- XML の主測点間隔、副測点間隔の両方を表示するようにしました。

ステーションピッチと表示ピッチに表現を変更しました。

#### ● 「データ入出力」

- 横断放射観測 (路線) で観測したデータの出力機能を追加しました。
- 「SIMA 横断 (成果)」と「SIMA 横断 (座標)」を追加しました。
- データ入力でデータ中に不具合データが存在しても、そのデータを飛ばし、最後まで転送できるようにしました。

データ入林中、座標値が制限値を超えた場合と点名文字列と属性文字列が制限長を超えた場合、読み込みを中断せずに最後まで行えるように改良しました。

データ読み込み後、何行目のデータ読み込みに失敗したか画面表示するようにしました。

#### ● 「横断放射観測」

- 横断放射観測 (路線) を追加しました。
- 「SIMA 横断 (成果)」と「SIMA 横断 (座標)」を出力できるようにしました。

#### ● 「座標測設」

- 座標測設一リスト機能を追加しました。

測設前に測設する点の座標リストを作成し、測設を行う機能です。  
事前に測設対象点を選択し、選択した点を順次測設できるようになりました。

- 「路線測設」

- 工種の違いなどにより任意断面が計算出来ない区間でも路線測設を行えるようにしました。

断面の構成点名が「F1n0」などの1系で構成された断面と「F2n0」などの2系で構成された断面の区間を(中心線からの幅/比高(勾配)を入力した場合のみ)誘導できるようにしました。

- 「測設全般」

- 実測した測設点座標記録方法を改良し、誘導画面の「OK」ボタンに記録機能を集約しました。

誘導画面の★メニュー内、「誘導設定」→「測設点座標」→「記録する」「記録しない」の選択をできるようにしました。

- 「出来形観測」

- 一般現場で出来形観測/出来形点検観測を起動した時、警告メッセージを表示するようにしました。

- 「出来形設定」

- 舗装出来形観測時の厚さ水平離れ項目を追加しました。

出来形厚さ観測の管理点からの制限距離を設定します。

- 設定値に、<制限無し>項目を追加しました。  
(従来は制限無しに設定する場合、0の値を設定していましたが、わかりづらいため、予め<制限無し>という項目を選択できるようにしました。)

対象項目: 標高差/幅員差/CL 離れ差/厚さ許容範囲/深さ許容範囲/法長(全て)ComboBoxで<制限無し>を選択すると、各種観測時の制限を行わないようにしました。

- 「初期設定」

- 器設タブ

- ✓ 既知点 水平距離差/鉛直距離差に、<制限無し>を追加しました。
- ✓ 任意点 X,Y 方向誤差/Z 方向誤差に、<制限無し>を追加しました。

- 「測設設定」

- 誘導範囲設定値に、<制限無し>を追加しました。

- 「バージョン情報」

- バージョン表記を \*.\* 形式に変更しました。(ビルド番号を別の箇所に表示するよう変更しました)

- 「横断マップ」

- 横断図(丁張/出来形観測の画面参照)の断面名を選択すると断面名メッセージボックスを表示するようにしました。  
(以前のバージョンでは、断面名が長い場合、断面名が切れてしまい、断面名を確認することがで

きませんでした)

- 「計算処理」

- 屈曲点の処理で、直線要素が5mm未満の場合、前要素の終点接線方向角、後要素の始点接線方向角の平均値を直線要素の接線方向角として扱うよう変更しました。

以上